

**2016 関東学生トライアスロン選手権
那須塩原大会**

《審判報告書》

2016年7月2日

日本学生トライアスロン連合

2016 関東学生トライアスロン選手権那須塩原大会

『審判報告書』

- 開催日 2016年6月26日(日)
- 開催場所 栃木県那須塩原市 戸田調整池及び周辺特設コース
- 競技距離 スイム 1,5km/バイク 40km/ラン 10km
- 出場者数(完走) 男子 287人(271人) /女子 69人(63人)
- 出場大学 男子 34大学/女子 19大学
- スタート 女子選手権…10:00/男子選手権…12:50
- 気象状況 天候…晴れのち曇り/最高気温 29℃/水温 18℃

【大会レポート】

6月26日(日)、栃木県那須塩原市において「2016 関東学生トライアスロン選手権那須塩原大会」が開催された。

大会当日は早朝より快晴、日中はかなり気温が上がる予報となり熱中症や脱水症状が心配された。また、今年度よりフィニッシュ地点が変更された。

ペナルティーに関して、男子はバイクラックの掛け間違いが2件、トランジションエリアへのバイクの搬入遅れが1件、ドラフティングに関するものが15件あった。女子に関してはドラフティングに関するものが4件あった。

今大会はドラフティング禁止のレースであるが、男女ともにドラフティングが目立ち、審判員のいるところでは散らばり、過ぎたらまた集団を形成すると言った動きが見られた。こちらは来年度以降への大きな課題であり、取り締まり方の変更や、ドラフティングをさせないための工夫を考えるべきである。それと同時に、選手にモラルやマナー意識の向上をさらに呼びかけていきたい。

バイクからランへのトランジションエリアにおいて、バイクをラックにかける前にヘルメットのストラップを外した選手がおり、審判員の忠告を無視したうえ、反抗的な言動を取ったため失格とした。該当選手には今後同様の行為を行った場合、資格停止処分もあることを伝え厳重注意をしたところ、反省しこれからはスポーツマンシップにのっとり競技するとの回答を得られた。

また競技とは別に明治大学による応援のマナーの悪さが目立った。バイクコースを横になって歩いたり、身を乗り出したりの影響により、進路妨害にも発展しかねない状況が多々見られた。主将へは直接厳重注意をし、謝罪と改善するとの回答を得られた。これから行われる観音寺大会では、関東の代表として恥じない、また尊敬されるチームになることを期待する。大会を通して選手も応援も、学生のモラルやマナーアップをしなければならないと感じた。